

- ※ 仕事に関して ○ 機械に代わる
- 世界との価格競争に勝つ＝世界の最低賃金で働く
- オンリーワンの価値を創造し世界で活躍する . . . 他
のどれを選ぶ？

2 市・県の役割

○ 地方自治体（市町村・都道府県）の本来業務

- 住民の未来の幸福のために、① 政策を企画し実施する（法律に違反しない限り）
② 中央政府・都道府県に法律・制度を作らせ、変えさせる

- ※ 行政は、住民・国民の未来のために、何でもやるべき
- ※ 政府が決めた業務を間違いなく執行すること . . . が、自治体の本来業務ではない
- ※ 238 人（衆議院議員の過半数）、122 人（参議院議員の過半数）で、法律は変えられる
- ※ 未来の我々の暮らしのために、法・制度を作る（変える）のが、政治・行政の役割
- ※ 政治・行政に、我々のために作らせるのが有権者の役割
. . . 棚からぼた餅は落ちてこない。自らの努力と行動が必要
- 行政機関は、私たちの幸福のプロデューサー
- 私たちは、行政機関のプロデューサー
行政機関のメンバーを選び、良い仕事をやってもらう
. . . 優秀な行政機関プロデューサーになろう
. . . そのために、ビジョン、台本を考え、勉強し、努力を、

3 自治体が政策を作るプロセス

(1) 現実の直視 . . . 政策立案の基本 . . . 重視すべし

- ① 住民の生活
 - ② 地域の状況（交通、自然、文化、医療、買い物環境 . . .）
 - ③ 地域で行動している人々の活動
 - ④ 住民や地域で活動している人々の夢・希望、困っていること、悩み
 - ⑤ 社会の現実をリアルタイムで知る
世界の動きや経済状況、民間企業の活動、マーケットの動き、人々の行動のトレンド
 - ⑥ 住民・地域で行動している人々の活動が、そうした行動をする理由・原因を直視
- ※ 人、人々の活動、その区域内のあらゆるもの＝住民を幸福にする可能性を秘めた種
. さまざまな個性を把握することが重要

※ 地域の宝は、まず、そこに住み、活動している人・・宝かどうか：マーケットが判断
・・・・・マーケット、社会経済情勢、人々の動き を知る必要

※ 行政は・・・個人、企業が持っている知識や情報を集約し、支援を・・・・住民も協力を

(2) 将来を予測し、予想する

- ① 未来を予測する・・・・統計データの分析・推計、過去の歴史的事実、
- ② 予測を踏まえ、未来を想像する

(3) みんなで実現を目指す理想の未来像を決める・・・政治的決断＝多数決で決める

- ① 未来の地域住民の理想の暮らし
- ② 未来の地域の理想の姿（地理、人々の活動、文化、環境・・・）

○ 明日、1年後、10年後・・に、

○ 現在の地域住民の誰が、
どこで、どんな仕事をし、いくら稼ぎ、どのように暮らしているか

○ 地域では、どんな人々が、どんな行動をしているか

※ 未来のビジョンを創るために留意すべき点

○ 地域に住み、地域で活動している人々の夢や希望を起点

○ 住民自らが実現する未来の目標

○ 現状＝現在の人々の行動の結果・集積

・・・より良い未来を創造する→人々の行動を変えることが基本
現状の否定、批判につながることの許容

○ 我が国の人口動態や世界経済の動きの中で、実現可能な目的とすべき

○ 一人ひとりの住民の夢や希望を起点に、意欲・努力・成果をセットで考える。

● ロー努力→「政治・行政の力」⇒ハイリターン・・・・は困難

○ 未来のこと＝現在の常識を超えたもの

○ 具体的＝全員が納得しないもの・・・・であるべき

・ 優先順位の決定、取捨選択こそ政治。だから、選挙、多数決

・ 抽象的なものは、戦略が無く、目標や計画性が無いのと同じ

● 全員の利益になる政策は無い・・・・だから、選挙・多数決

● 過去の復活・現状維持ではなく、未来の創造を←時代は激変している

● 「だって○○君もやっている」・大人になっても⇒自立、自分で判断すべき

(4) 具体的工程表を考える

- 理想の未来を実現するために、

誰（住民、企業、商店会、市役所（市長・職員・市議）、県庁、政府・・・・・・）
が、いつ、何をすべきかを具体的に示す工程表を、

住民（未来を実現する主役・本人）、自治体、等、関係者が一緒に考え、決める

(5) 政策を企画立案する・・工程表通りに人々に行動させる手法＝政策 を 作る

- 未来を変える＝人々の未来の行動を変える
政策＝人間の一定の行動を促すための手段

※ 目的を具体的に・・「市民」「地域」「活性化」「景気回復」「環境整備」等、
抽象的用語を使わない

(6) 政策を実施する・・みんなで実施

市民、市内通勤者、市内通学者、企業、団体、公務員、議員・・・・

それぞれが、協力して、一緒に政策を実行する

4 人口等の誘導策・・・・数、内容

(1) 定住人口の誘導・・どんな人を、どこから、引っ越しさせるのか？・・・・相対的優位

- ターゲティング と、ターゲット層が居住地を決定するときに重視する要因を探る
- お客様候補の嗜好に合わせ⇒地域を変え、お客様が望む機能を整備する
・・・・マーケットインの行政を

・・・・住民が生活者として望む機能と重なる

(2) 交流人口の誘導・・どこから、どんな人を、何のために来させ、何時間何をさせ、
いくらお金を使わせるのか・・・・

- 地域にあるさまざまな人・モノ・コトを活用して、お客様に提供する価値を作る
- マーケットが求めるものを、外から地域に持ってきて、
(付加価値を付け) お客様に提供する

※ 資源の候補を見つけるのは地元等＋資源かどうかを判断するのはマーケット

※ ライバルと比べ、短所を減らしても効果少ない・・・・長所を伸ばすことが重要
無いものねだり → あるもの 探し

※ 商店街活性化とは？ 必要性は？ 利益を得る人は？

商店街の通行人を増やしたい、買い物する人の数を増やしたい、
そこの店の売上げを増やしたい、利益を増やしたい・・・????

(3) 大学・企業等の誘致

- どんな企業等 を、何の目的で、誘致したいのか。その効果は何かを具体的に考える
- 企業誘致には、メリット・デメリットが存在する・・・効果を冷静・的確に検討を
- 企業等誘致のライバルはどこか？・・・ライバルに勝つ機能の整備
地価、港・空港までの運送コスト（料金・時間）、子どもの教育・・・

(4) お客様人口、ファン人口、応援団人口・・・の拡充を

5 地域住民の収入の増加

- ○○市民 所得○倍計画、 ○○市企業等利益○増計画を 作成し、所得増加推進課を設置
- 市民を売り出すプロダクションに
ビジネスマン、芸能、文化、職人技、営業スキル、専門知識・・・

(1) 地域企業・住民のビジネスの支援

- ① 経済的支援（補助金、金融、減税や、補助金申請書類の作成）
- ② 規制緩和
- ③ 新たな法制度の構築
- ④ マーケット情報の提供
 - マーケット情報等の収集、提供
 - 商品開発・販路拡大・人材確保の支援、マーケット情報の収集
- ⑤ 販路拡大、仲間やお客様との出会い・・・マッチングの機会の提供
・・・公務員の名刺の活用
- ⑥ コスト削減
わかりやすい法令情報の提供、手続簡素化、コスト削減の支援・・・

※ 個性と個性が出会い、新たな価値が生まれる
・・・自治体は、その支援を・・・議員、住民も一体となって取り組む

※ マーケット＝チャンスは、日本の1億2千万人、世界の70億人に広がる
一人一人を、70億人とつなげるのは行政の役割

※ 特定個人・特定企業の支援を否定しない・・・公平に何もしない ことは最悪

(2) 可処分所得、可処分時間、可能性の増加

6 住民の夢や希望を叶える・・・経済的な活性化以外の政策

第三 活性化政策を考えるポイント

1 個性を活かし合うことの支援が重要・・・地域には宝の山がある

※ その人だけの能力、知識、知恵、個性

※ その地域だけのさまざまな事象、個性 がある

※ 人や地域の個性を見つけ、磨き、付加価値を生み、マーケットに発信し、結ぶことの
支援 が重要

○ 世界の特定の才能が集積する拠点も夢ではない

・・・価値を決めるのは、現在、未来の、世界の70億：自己の過小評価は禁物

2 定住人口より、関係者人口の増加・生産する価値の増加を重視

※ 各分野のプロの集積と活用・・・世界的な個性のネットワークの構築と活用

・・・その地域のファン、出身者、お客様、地域住民のために行動する仲間

・・・こうした人の数を増やすこと

・・・地域の人々が創造する価値を増やすこと が重要

3 個性を認め、活かし合う社会の構築を←高度成長期の排除のシステムからの転換

※ 住民、企業、団体、行政、サポーターの

知識、知恵、力、を結集し、生かし合おう・・・絆

※ 欠点探し、批判ではなく、良いところ探し、と、知恵と力の出し合い へ

◎ 批判、チェック、排除から、人を生かし合い、個性を活かし合うために、
知恵と力を出し合う社会に

※ みんなで作ろう、いくつになっても、夢や希望が持てる社会

※ 行政の役割：弱者救済だけではなく、一人一人の個性・地域の個性を伸ばすこと

※ マーケットインの徹底を

4 過去・現在・既存の制度から・・・ではなく、未来を起点に考える

5 失敗しない ではなく、住民を幸福にするために行動し、価値を創造することが大切

※ 失敗しないこと、何もしないことが優秀？健全な行政？

6 過去に決められた通りにやる or 現状・未来に合わせ制度を変える・・・どっちが正しい？

7 何もしないこと、過去を踏襲することが、「公平」「公正」「平等」でないことの自覚

8 変革後のデメリット、現状のメリットを強調した議論に注意

9 制約要因としての常識、制度、自治体のエリア、空気の打破

※ 行政の活動、公務員・議員の行動はすべて、
住民の未来の幸福実現のための手段である・・・肝に命じる

第四 地域住民の活性化を支援する行政システムの構築

・・・・自治体職員、議員は、・・・住民等の幸福プロデューサーに

(1) 行政は、個性の情報収集、磨き、情報発信、マーケット情報の収集を行う

住民、地域で活動している人々の多種多様な個性＝宝をプロデュースできる行政へ

- プロデューサーのプロに
- 国際的、迅速な活動が必要
- 全国・世界からの 絶対的適材適所に・・・多様な人材の活用

※ 職員が動きやすい環境整備を

(2) 議会の役割・・・・チェック機関→ 政策創造機関、政策実施機関へ

- 議会活動・議員活動で。住民の幸福を創造
- 議員個人の知識、経験、知恵、人脈等を活用し、地域住民等の活性化のプロデュースを
- 議会・議員の役割は、行政をどんどん積極的に活動させること

※ 議員の名刺・人脈のフル活用を

(3) 商店会の役割

- お客様のために
- 変わる
- 試合に勝つためには・・・

※ 住民、地域で活動している人・・・等、地域の宝が集積し、付加価値を創造する場所
・・・・大いなる可能性を秘めた場所に・・・・

おわりに みんなで未来を創造しよう

※ 未来を創るのは、政治家や公務員ではない。私たち一人ひとり。

○ 現在は明治維新、太平洋戦争後の変革に次ぐ第三の改革期

我が国の歴史上初めて、国民自らが決める、参考もお手本もない、改革

○ 政治家や公務員を作るのは、私たち

○ 時代の変革期は、危機＝チャンス・・・→人・個性を活かし合う新たな社会の構築へ

※ 高付加価値を創造し世界で活躍するために

住民一人一人の知識・能力・個性、地域の個性を、尊重し、活かすことが重要

○ 人を生かし合う社会の構築へ

人を尊重し合い、お互いの個性や良さを認め合い、活かす「人・個性を活かし合う社会」に変えていく必要があるのでは

自分の個性を解放し、自分らしく暮らしていくチャンス

※ 住民は、自治体、議会、議員のプロデューサー

※ プロデューサーの努力に応じて政府や自治体は育つ
現実には、時代劇でもシンデレラ物語でもない。

みんな、知恵と力を出し合うことが肝要

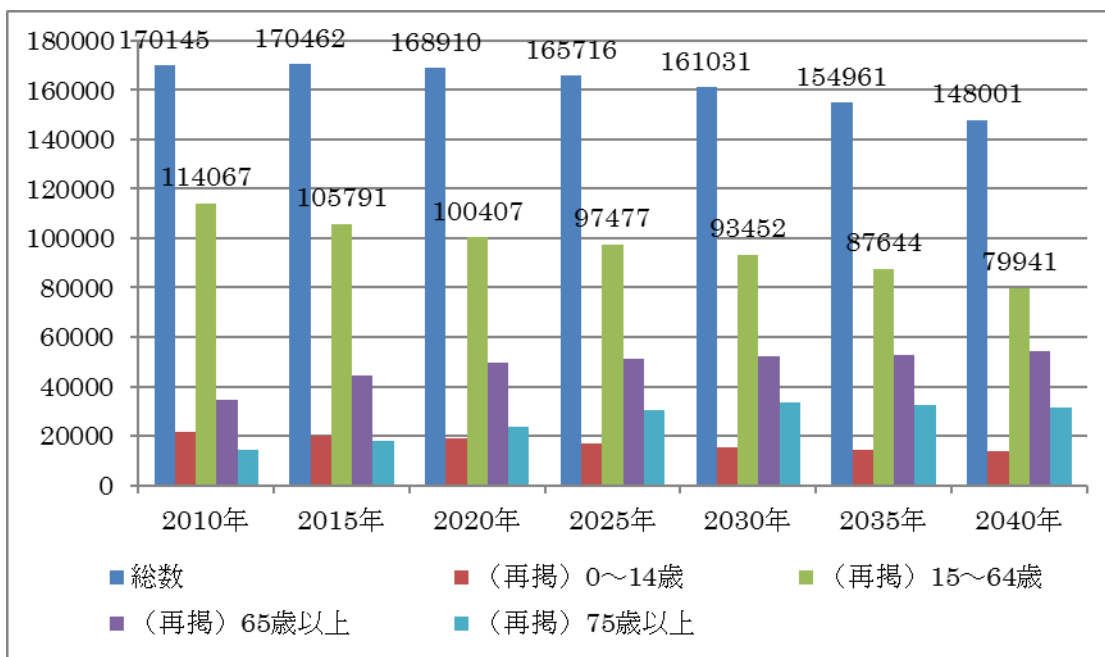
※ 自治体は住民が創造する作品

※ 政治をよくするためには、ねたみややっかみ、足の引っ張り合いがなくなることが必要。
批判だけでは、社会はよくなる。みんな未来を夢見て、みんなで作る

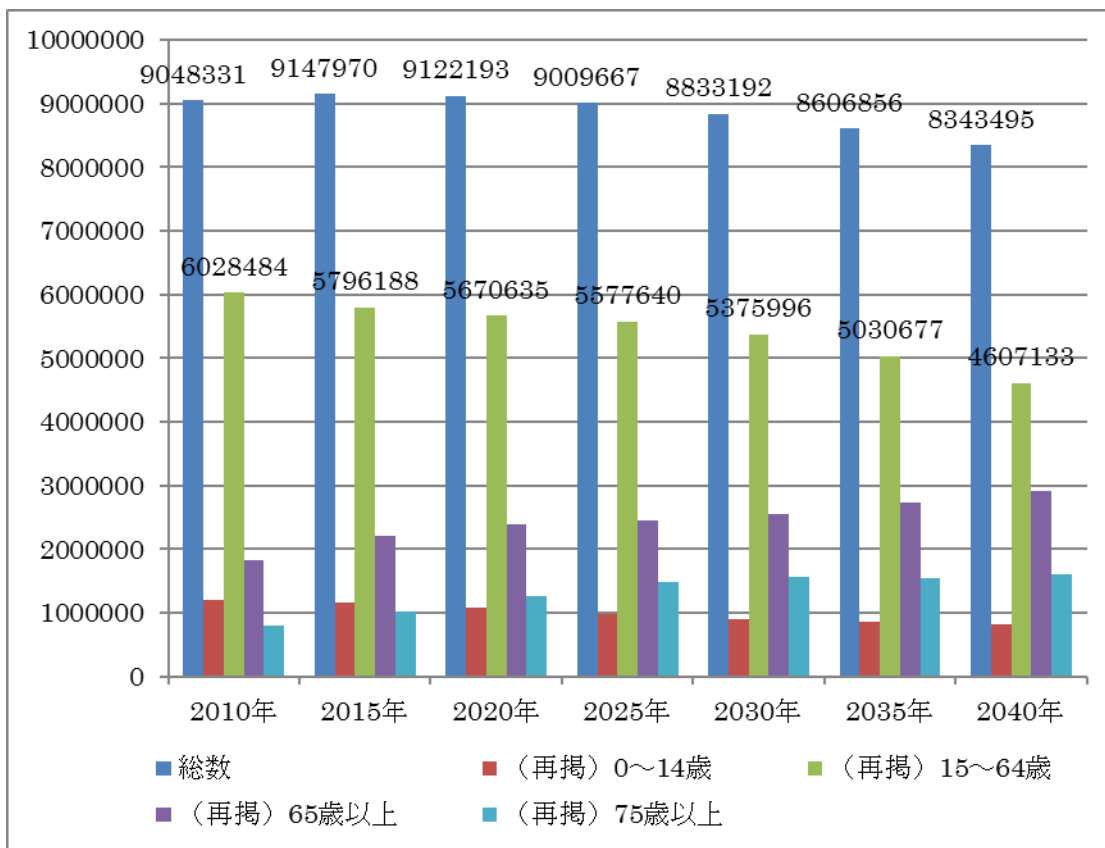
※ 住民が、未来の理想を考え、シナリオを考え、その実現を目指す努力をしよう

参考

1 秦野市の将来推計人口（国立・社会保障人口問題研究所の中位推計 2013年）



2 神奈川県 の将来推計人口（国立・社会保障人口問題研究所の中位推計 2013年）





松藤 保孝 氏

福岡県生まれ

自治省入省後、自治省消防庁、行政局公務員部、三重県企画室長、選挙部選挙課、神奈川県国民健康保険課長・環境影響審査課長・環境計画課長・市町村課長、経済産業省中小企業庁長官官房企画官（商業・中心市街地活性化担当）、総務省大臣官房企画官（地域振興・過疎対策）、堺市財政局長、高崎経済大学地域政策学部教授兼大学院地域政策研究科教授、関西学院大学法学部教授兼大学院法学研究科教授、内閣官房地域活性化統合事務局・内閣参事官、内閣府地方創生推進室・内閣参事官等を経て、現在（本年4月1日から）・地域総合整備財団事務局長